

第2回シェアカン

第2回シェアカン（指導医と研修医とが臨床経験を共有（”シェア”）し、1つの症例から最大限学ぶ方法を考える”カンファレンス”）の内容をシェア致します。

1 例目は安静時呼吸困難を主訴に受診し、呼吸数 42/分、SpO2 96%(room air)であった方。頸静脈、胸部診察、胸部 Xp、心電図までで心・肺の異常である可能性は低いと思われた。次に想定する病態は？

血液ガスで著明な AG 上昇代謝性アシドーシスを認め、呼吸性代償を目的とした呼吸数の増加がみられたのでした。

2 例目は肺結核の症例。

呼吸器内科 吉田匠生 先生から、診断のピットフォール、画像所見の読み方など専門医の視点からコメントを頂き、参加者から自身の経験を元にした様々な質問、意見が出ました。

カンファレンスのタイトル通り、経験をシェアし、皆で学ぶという目的が達せられたのではないかと思います。

今回は金沢大学から実習に来ている医学生にも参加して頂き、実践的な学びが得られた、とのコメントをもらいました。

文責：内科・リウマチ科 鈴木 康倫